

令和4年度 磐田市立竜洋西小学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	○考察 ※改善策	学校運営協議会委員から
みんな気で学ぶ子	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりが自分事として学ぶための授業改善をする。 学び合う学習集団づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、自分の考えをもち、対話の中で学びをついているか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童評価:84.8% ○教職員評価:95.3% ○保護者評価:89.7% ○「児童が、自分の考えをもち、対話の中で学びをつくる」ために、「子どもが主語の授業」をつくるための教職員の研修を充実させたことで、教師の授業づくりに対する意識が高まり、高い評価の値を示したものと考える。 ○「対話の中で学びをつくる」ことについては、今後教師のさらなる研修が必要であるとする。 ※効果的な対話の要件について授業の子どもを表れから検証していく。 ※学び合う教職員集団構築のために、効果的・効率的な研修方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を参観した際に、児童が友達の意見を聞きながら聞く姿が見られた。自分と友達の考えの違いを発見しているようだった。 ○授業を参観した際に、個々の児童が自分の考えを個人名カードを使って表出している姿が見られた。その後の話し合いにより、児童一人ひとりの考えが深まっていく様子が見られた。
大切にもす友達も	<ul style="list-style-type: none"> にしのこ10のやくそく、月のめあてを明確にし、子どもの表れに価値付けをする。 子ども同士が関わり合いながら考え、実行できる場を工夫する。(委員会・係活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、にしのこ10のやくそくを守り、みんなのために行動しているか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○児童評価:87.5% ○教職員評価:81.0% ○保護者評価:88.2% ○本年度も大きな問題行動もなく、安定した学校生活が送れた。 日常生活の中で、様々な経験をした子どもたちが、教師と共によりよい解決方法を考え、次の行動につなげていった成果であるとする。 ※にしのこ10のやくそくを含め、児童が主体的に学校生活を送るために必要なやくそく等の見直しを図っていく。 ※トラブルの傾向を分析し、年度初めに教職員で共通理解する場を設定したり、児童の表れに対し、ケース会議を短時間で定期的に設定することができる生徒指導体制の整備を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○やくそくは、自分も含めたみんなが気持ちよく過ごせるようにするためにあることを児童に伝えていきたい。 ○本年度行った大交流会では、歳の上の学年の言う事を理解して行動する児童の姿が見られた。
友達と元気に生活する子	<ul style="list-style-type: none"> みんなで主体的に取り組む学校行事、授業、外遊びを子どもと工夫する。 健康の日や栄養指導などを通して、子ども自らの健康に関心をもつ指導、見届けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、友達と仲良く関わり合いながら、楽しんで運動や外遊びをしているか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童評価:85.4% ○教職員評価:95.3% ○保護者評価:89.0% ○体を動かすことが、本校の児童において習慣になっており、本校の児童の良さであると考えられる。 ※本校の日課表の特色である水曜日のロング昼休みを有効に活用し、教職員が意識して運動や外遊びを通して、人間関係づくりができるように、教職員の共通理解を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○にしのこは本当に外遊びが好きで、習慣的に身体を動かしていると思う。 ○朝や昼休み等、運動場で遊んでいる姿が見られるので、よいと思う。 ○授業の中でも遊びの中でも、けんかをしたり、助け合ったり、教え合ったり、励まし合ったりして子どもたちは日々生活していると感じた。
深い子ども理解	<ul style="list-style-type: none"> 教師は子どものことを理解して指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師は、子どものことを理解して指導にあたっているか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童評価「学校が楽しい」:86.5% ○教職員評価「子どもたちは学校生活を楽しんでいる」:100% ○保護者評価「教師は子どものことを理解して指導にあたっている」:94.0% ○子ども理解に対し、保護者の信頼を得ることができている。 ※すべての児童が楽しい学校生活を送るために、個別最適な学びの推進を図りながら、家庭・地域・関係機関と連携をし、「誰一人取り残さない教育」の実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校全体の雰囲気から、教師は児童を理解して指導していると感じる。 ○児童が何につまずいているのか知ろうとして一人ひとりに接している教師の姿が見られる。 ○健康状態、理解度、友達や家庭環境等を理解して教師は指導している。
	<ul style="list-style-type: none"> 教師は子どもの姿から、子どもや保護者と適切に面談、連絡、相談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師は、子どもの姿から、子どもや保護者と適切に面談、連絡、相談を行っているか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○児童評価「困ったことがあったとき、担任の先生や他の先生に相談している」:71.3% ○教職員評価「子どもや保護者と適切に面談、連絡、相談を行っている」:95.2% ○保護者評価「教師は子どもや保護者と適切に面談、連絡、相談を行っている」:91.9% ○生徒指導上の問題行動も減少し、落ち着いた学校生活を送ることができた。 ○先を見通し、計画的に積極的な生徒指導を行った成果であるとする。 ※ICTを活用し体制整備を進め、本校の実態に合った面談、連絡、相談体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「なんでも相談日」が教育課程に年間で位置付けられていることは、とてもありがたいことである。 ○保護者からの声で、「教師がよく話を聞いてくれる」という意見があった。
安心安全の	<ul style="list-style-type: none"> 教職員ははじめや問題行動があったとき、適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員は、はじめや問題行動があったとき、適切に対応しているか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童評価:92.3% ○教職員評価:100% ○保護者評価:90.8% ○丁寧な連絡対応を意識して行ったため、保護者からの信頼を得ることが出来た。 ※初期対応とともに、事後の継続的な支援の充実を図り、より丁寧な対応を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめや困ったことを保護者から相談されることがなくなった。先生方が頑張っているのだと思う。 ○早期発見、早期対応がされていて、ありがたい。
地域と学校ともに	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、学校教育目標「えがおかがやくにしのこ」を実現するための教育活動を、日々推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、学校教育目標「えがおかがやくにしのこ」を実現するために、日々の教育活動を行っているか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童評価:90.8% ○教職員評価:100% ○保護者評価:93.3% ○本年度は少しずつ感染症による様々な関りへの制限が緩和される中で、地域の方々とともに学校教育目標具現化のための取組が推進された。 ※学府大交流会をはじめ、学校運営委員会の委員の方々やCSCとの連携により充実した教育活動を行えた実績を踏まえ、来年度は本校でもより学校と地域が連携できる取組を教育計画に位置付けるようにする。 ※本年度の取組を振り返り、地域とともにある学校づくりを目指し、カリキュラムマネジメントを推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標実現に向かって、学校が丸丸となって取り組んでいる姿が、行事等で見られ、うれしく思う。 ○大交流会、スポーツフェスティバル、わくわく音楽発表会等、児童が自分の持つ力を思いっきり発揮できるように、教師が指導しているように感じる。

学校関係者評価を受けてのまとめ

学校運営協議会での話し合いを行い、運営協議会委員からも学校での取り組みへの高い評価をいただいた。学校・家庭・地域の連携・協働がうまくいっている成果であると思う。また、今後地域の中で活躍できる子どもたちを育てていくために、地域とともにある学校づくりの推進をしていきたい。
 グランドデザインをベースに、教職員、学校運営協議委員、地域、外部機関が、同じ方向を向いて、学校教育目標「えがおかがやくにしのこ」の実現を目指していくための方法を検討し、学校運営協議会委員の協力を得ながら実現をしていきたい。